

東っ子

H28. 10. 20
甲府市立東小学校
10月号

学校教育目標
「楽しみがゆきわたる」
～甲府一明るい学校～

「4月19日（火）に実施した全国学力学習状況調査の結果について報告いたします。
この調査は、6年生を対象に教科に関する調査(国語・算数)と生活習慣や学習環境に関する質問紙調査を、3つの目的< ① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。②このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。③学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる>で実施されました。
このたび、本校の分析結果がまとまりましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせするとともに、地域の皆様にも回覧をしていただき、お知らせして参ります。なお、調査に参加した6年生には各自に、保護者には個別懇談で、個人票を基に具体的な課題等について説明していく予定です。よろしくお願いたします。

報告します 「全国学力・学習状況調査の分析結果の概要」

1 本校の状況<学力調査>

国語A

- 目的や意図に応じて、書く事柄を整理する問題はよくできていて正答率が高い。
- 目的に応じて図と表を関連付ける問題の正答率が高い。
 - ・漢字の読みの正答率が高いが、書き取りの正答率が低い。
 - ・登場人物の人物像について、複数の行動や会話などについての叙述を根拠にして捉える問題の正答率が低い。
 - ・ローマ字の読み書きの問題の正答率が低い。



国語B

- 目的に応じて複数の本や文章などを選んで読む問題の正答率が高い。
- 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができる問題の正答率が高い。
 - ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問をする問題の正答率が低い。
 - ・グラフや表を基に活動前と活動後の結果を比較して、課題が何かを捉えて書く問題の正答率が低い。
 - ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく問題の正答率が低い。

算数A

- 末尾の位のそろっていない小数の加法の計算問題はよくできていて正答率が高い。
- 二つの数の大小関係を表す不等号を書く問題では、不等号についてよく理解できていて正答率が高い。
 - ・単位量当たりの大きさを求める問題の正答率が低い。
 - ・示された場面を適切に読み取り、場面を式に表す問題の正答率が低い。
 - ・1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を捉える問題の正答率が低い。



算数B

- 示された条件を基に同じ決まりが成り立つかを調べる問題の正答率が高い。
- 示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定していく問題の正答率が高い。
 - ・示された説明を解釈し、別の場面に適用しながら、その説明を言葉と式を用いて記述する問題の正答率が低い。
 - ・折れ線グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄が正しくない理由を言葉や数を用いて記述する問題の正答率が低い。
 - ・図形を構成する角の大きさを基に、示された四角形を並べてできる形を判断する問題の正答率が低い。

2 本校の状況<質問紙調査>

- 「学校のきまりを守っていますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は非常に高く、全国や県より高い。
- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は全国や県より高い。

- 「朝食を毎日食べていますか」の質問に対して、毎日食べている児童の割合は全国よりも高く9割をこえている。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は全国及び県と同様に非常に高い。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答している児童の割合は全国及び県より高い。
- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は、全国及び県より高い。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合は県より低く、全国とほぼ同程度である。
- ・一日当たりのテレビやビデオ・DVDの視聴時間は、3時間以上と回答した児童の割合は全国及び県より高い。また、一日当たりのテレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしている時間が、2時間以上と回答している児童の割合は全国及び県より高い。
- ・「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」の質問に対し、全国では「1時間以上2時間より少ない」の割合が最も高いが、本校では「30分以上1時間より少ない」と回答した児童の割合が最も高くなっている。



学校としてこれからの学習への取り組み

国語

- ・漢字書き取りの課題があることから、ミニテストを定期的実施したり、漢字を使っての熟語作りや短文作りなどを取り入れて日頃から漢字を使う活動を工夫しながら繰り返し指導をする。
- ・話し手や書き手の意図や資料を正確に読み取る力をつける。そのために、与えられた条件や例示を理解して、それらを活用しながら、説明したり文を書く指導をする。特に、自分の考えや学習感想を書いたり、板書をまとめたりするなど、ノート指導を中心に書くことを重視した学習活動を取り入れた授業を工夫する
- ・パソコン活用時に、ローマ字入力指導を行っていく。

算数

- ・基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えられるようにするために、具体物や図に表したり、数直線で示したりなど視覚的に表すことにより割合の理解を深めるようにする。
- ・図形について体験的に学べるように工夫した指導を行う。具体的には、定規やコンパス、分度器などの器具を使用しての作図や製作活動など、児童が興味・関心を持って取り組める学習を仕組むことで、自らその性質に気づくことができるようにする。
- ・表、式、図やグラフなどの与えられた情報から必要な情報を見つけたり相互に関連づけたりしながら、問題を解決する方法を説明できることを重視した学習を展開していく。



家庭では→学習習慣の定着にご協力を！！(質問紙調査からの改善点)

本校の児童は、日直や当番、委員会や児童会活動でもしっかり仕事をしています何よりも、学力向上で最も大切な毎日の授業にも一生懸命に取り組んでいます。しかしながら、質問紙調査結果を見ますと、今後、改善が必要と思われる項目がいくつか目につきます。

特に、全国と比べるとテレビやビデオなどの視聴やゲームの時間は長く、家庭学習の時間が短い実態が浮かび上がってきました。学習効果を高めるためには、集中度合によって違いますが就寝時刻や生活時間から考え、学年×10分の家庭学習の時間、具体的には低学年が10分～20分、中学年は30分～40分、高学年では50分～60分が目安とされています。

学校でもテレビやビデオなどの視聴やゲームに関する指導をしたり、「家庭学習の手引き」の作成・配布や宿題の出し方なども工夫したりして、児童が自主的に学習に取り組むことができるように働きかけています。各ご家庭におきましてもテレビやビデオなどの視聴やゲームの時間を決める、家庭学習の習慣が定着できるよう学習環境を整える、声かけをして励ましていただくなどご理解とご協力をよろしくお願い致します。



